

I. 令和4年度事業計画

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大は、観光業界に多大な影響を及ぼしている。我が国では、昨年末よりオミクロン株による感染が急速に進展し、3回目のワクチン接種が進められてはいるものの、新たな変異株への置き換えが警告されるなど、依然として先行きは不透明な状況にある。このような中、感染拡大防止対策を徹底するとともに、国の動きや社会情勢の変化を見極めながら、withコロナ時代に相応しい取り組みを進め、afterコロナへとつなげていく必要がある。

このような中神戸観光局では、大阪・関西万博が開催される2025年度（令和7年度）を目標年次とする中期ロードマップを策定した。「滞在型国際観光都市」の実現を目標に、コロナからの回復状況に応じてフェーズを設定し、事業分野ごとに設定した目標年次におけるありたい姿（目標）を実現するための方向性を明らかにした。

観光分野は目標を、観光客が神戸に宿泊し、神戸のライフスタイルを楽しむとともに、海外からの観光客が神戸を認知し、目的地として選ばれることと定め、令和4年度は、神戸の有する自然や温泉、食やライフスタイルをより意識した体験型コンテンツの開発や非日常感のある高付加価値の旅行商品の造成を進めていく。また、SNSなどのデジタルプロモーションを充実するとともに、神戸市と連携しながら首都圏でのPRを強化する。

MICE分野は目標を、神戸で新しいチャンスを掴みたい、再訪したいと期待するMICE参加者の増加と定め、令和4年度は、引き続き神戸MICEブランドの認知と価値向上に向けた取り組みを進めるとともに、神戸へのインセンティブツアーの誘致に向けた支援を継続するなどしながら、「グローバルMICE都市」を目指していく。

港湾振興分野は目標を、観光客がウォーターフロントエリアに滞在したいと感じ、非日常的な体験を楽しんでいることと定め、令和4年度は港湾関連事業者や観光事業者と連携しながら、ウォーターフロントエリアの賑わいづくりを進めていく。

1. 観光誘客

(1) ライフスタイル観光にフォーカスしたコンテンツ整備

①自然を活かした新たな体験型コンテンツ開発への支援

コロナ禍においては、山や海などの「自然」を活かした観光コンテンツが嗜好されていることから、新たに宿泊につながるような自然を活かした早朝型コンテンツや「里山・農村」、「六甲山系」、「須磨海岸」などを活用したコンテンツの開発を支援する。

②上質な食の観光体験商品の造成、販売

「特別感・上質感・神戸らしさ」とともに、その時・その場所でしか体験できないプログラムを季節ごとに提供する「こうべ旅」に、神戸ならではの景色や場所で、首都圏

やインバウンドにも通用する「神戸ビーフ」「灘の酒」「スイーツ」など「食都神戸」が有する多様な食を体験できる非日常感のある高付加価値の旅行商品を造成、販売していく。

③公民共創事業

自然をテーマにした取り組みなど、withコロナの時代に合致する、神戸らしさを活かした滞在型観光の促進に資する新事業の提案を事業者から募集・選定し、協働で実施する。

なお、ナイトタイムエコノミーの充実を図るため、「神戸夜市の開催」を別枠で支援することにより、神戸観光の夜の賑わいを創出する。

(2) 観光プロモーションの推進

①withコロナ期における交通事業者等と連携した観光プロモーション

鉄道事業者との連携事業として、JRグループが2023年夏に兵庫県下で実施するデスクティネーションキャンペーンのプレキャンペーンへの協力や、沿線情報誌を活用したプロモーションを実施する。

あわせて、航空会社やフェリー船の運航事業者との連携事業として、就航都市のマスメディアを使ったプロモーションや現地エージェントへの営業活動などにより、さらなる神戸への誘客を促進する。

また、インバウンド観光再開に備えて、日本政府観光局（JNTO）や広域連携DMO等と連携したプロモーションを行うとともに、海外観光ネットワーク拠点の活用等を通じた認知度の向上を図る。

②公式観光サイト・SNSによるプロモーション

令和2年度末にリニューアルした公式観光サイトについて、モデルコースやコラム記事の充実、エリアガイドページ・アクセスページのリニューアルなどさらなる改善を行う。加え、ユーザーの興味・関心に応じた観光情報をSNSとも連動しながら国内外に効果的に発信する。

また、コロナ禍における社会情勢の変化に応じて、動画によるイメージ訴求からキャンペーン情報まで、適切な情報をターゲットに効果的に発信するほか、インフルエンサーによる投稿を活用するなど、神戸の認知度向上とさらなる誘客促進に向けて、公式観光サイトとSNSを連動させながら国内外への発信を充実・強化する。

③メディアプロモーション

神戸観光の奥深い魅力を、テレビ、雑誌やWEB等のメディアに取り上げられるよう、PR会社を活用したメディアプロモーションを実施する。

④東アジア相互プロモーション

インバウンドの需要回復を見据え、神戸の訪日旅行においても大きな割合を占め、かつリピート性が高い東アジア（台湾）に向けて、鉄道会社（阪神電鉄）のネットワークを利用したプロモーションを実施する。

⑤KOBE 観光スマートパスポート

コロナ禍で落ち込んでいる観光需要の底上げを図るため、市内の観光施設等の周遊を促進することによる経済波及効果と市内観光関連事業者の支援を目的に、国の Go To トラベルキャンペーンや近場旅 KOBE キャンペーンなどの観光誘客の取り組みと連動して、KOBE 観光スマートパスポートを半額で期間限定販売する。

⑥教育旅行プロモーション

平日を中心とした市内宿泊施設及び観光施設への誘客促進策として、一定の条件を満たす教育旅行を誘致した旅行会社に対する助成制度を拡充して、昨年度に引き続き実施する。

あわせて、震災学習やSDGsに即したテーマが学べるモデルコースの紹介など、神戸ならではの教育旅行の魅力を引き続き発信するとともに、教育旅行ワンストップ窓口の運営や、市内事業者と連携した誘致活動を実施する。

⑦イベント等の実施・支援、地域観光の振興

感染防止対策に十分留意した上で、震災犠牲者の鎮魂と神戸地域への集客を目的とした「神戸ルミナリエ」を実施、または感染状況に応じた代替イベントを検討するとともに、北野、南京町、有馬、六甲・摩耶等におけるイベント等の開催を支援する。

⑧ゴルフツーリズムの推進

市街地からのアクセスの良さやアフターゴルフの豊富な観光コンテンツを生かし、ゴルフ関係事業者や宿泊施設、近隣市等とともに、ゴルフ旅行商品の造成や受入環境整備を進め、滞在型観光につなげていく。

(3) フィルムオフィス事業

神戸が映像を通して国内外に紹介されることにより、まちのイメージアップ等につながるよう、「神戸フィルムオフィス」の運営を行う。

また、神戸で撮影された作品やゆかりのある監督等をPRすることで、ロケ地の魅力を活かした観光誘客を図るとともに、情報番組等への支援を強化し、更なる魅力の発信に努めるほか、神戸を舞台にした映像作品を誘致するためのシナリオハンティング助成を新たに行う。

(4) 観光案内所の運営

「神戸市総合インフォメーションセンター（三宮）」、「新神戸駅観光案内所」および「北野観光案内所」において神戸の観光情報等の提供を行うとともに、観光客の利便に資するバスチケットや周遊パス等を販売し、観光客への利便性や回遊性の向上を図る。

2. MICE誘致

(1) 神戸の強みを活かした医療・福祉・新産業・港湾へのフォーカス

①withコロナ期におけるMICE誘致プロモーション

神戸MICEブランドとしての4つの強み（港湾、福祉・防災、医療、新産業）を軸に、新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑みながら、首都圏・関西圏の大学や学会・協会・企業等に対して、MICE誘致プロモーション活動を展開する。

また、afterコロナのMICE動向を把握するため、国際会議・国内大型医学会等へのアンケート調査を行い、SDGsやサステナビリティ等の主催者のニーズの把握に努める。

②海外のMICE誘致プロモーション活動

日本政府観光局と共同し、海外MICE見本市に出展し、誘致プロモーション活動を展開する。

また、世界のバイヤーとの商談のみならず、海外のコンベンションビューローとの情報交換をはかり、継続性を持って関係強化に努める。

その他、国内外の商談会や海外キーパーソン招聘事業に参加するなど、誘致に努める。

また、海外MICEの再開に備えて、神戸MICEのブランドを積極的に活用し、統一的なプロモーションを行い、MICE都市・神戸のブランド認知・向上を図る。

③インセンティブツアー誘致の推進

これまで海外インセンティブツアーを組んでいた企業・団体が、行き先を国内へ変更する流れとなっている機会を捉え、引き続き「国内インセンティブツアー誘致補助金」を活用して、積極的な誘致セールスを行い、平日需要の喚起につなげる。

また、ビジネス渡航再開後の海外インセンティブツアー需要に備えて、引き続き、在シンガポール拠点活動においてターゲット化しているアジア圏の企業への直接訪問セールス活動、及び欧米有力旅行代理店のFAMトリップ実施等の海外プロモーションを展開する。

④主催者・事務局のサポート

MICE主催者・事務局に対して、補助金交付等のサービスをパッケージ化した「Meet in KOBE」を案内するほか、withコロナ時代に沿ったハイブリッド開催のノ

ノウハウを地域施設にも情報共有し、アドバイスも含めて総合的なコンサルティングサポートを行う。

また、マスコミへの定期的な情報提供や大型MICE開催時のバナー掲示等により市民への広報を行い、MICEに対するおもてなしの醸成に努める。

更に、引き続き、国内外のMICE主催者に対する広報メールマガジンを発信し、認知度向上を図るとともに、コロナ禍における神戸の取り組みをPRすることで、安心・安全な都市のイメージアップを図る。

⑤MICEの主催・共催

国内唯一の海洋分野を横断的に網羅する隔年開催の国際コンベンション「Techno-Ocean 2023」の開催に向けて、実行委員会の事務局業務を担い企画・準備を行う。またMICEの運営ノウハウを蓄積することにより、神戸で開催されるMICEの主催者、参加者のサポートに活かす。

(2) アフターMICEプログラムの拡充

ユニークベニュー・アフターMICEプログラムによる誘致促進

ビジネス渡航再開後のwithコロナ時代のMICEに対応した「体験プログラム」「文化体験」「チームビルディング」「テクニカルサイトツアー」を含めた独自のユニークベニュー・アフターMICEプログラムについて、引き続きブラッシュアップを行い、さらなる誘致促進を図る。

3. 港湾振興

(1) 港湾資源を活かしたウォーターフロントの賑わい創出

①ウォーターフロントエリアの賑わいづくり

新港突堤西地区における第1突堤基部、第2突堤の再開発事業のほか、第1・2突堤間の水域活用を含む再開発や神戸ポートタワーのリニューアル、中突堤中央ビルの再整備等が予定されている。これらの動きにあわせて、ウォーターフロントエリアの賑わいづくりに貢献していく。

②市民と港を結ぶイベント・広報事業

「みなとこうべ海上花火大会」は、「みなとHANABI」と名称を変更するとともに実施形態を短時間・複数日開催に見直して実施する。

「神戸港ポート天国」や「神戸港カッターレース」等についても、感染症対策に十分留意しながら実施、または感染症状況に応じた代替イベントを検討し、海洋思想の普及啓発や海事人材の育成、ウォーターフロントの賑わいづくりに貢献する。

③クルーズ客船の受入

職員のマスク着用・手洗いの実施等の徹底など、旅客ターミナルでのガイドラインに沿った感染防止対策に万全を期したうえで、安全安心な客船の受け入れに努める。また、入港歓迎行事やおもてなし事業の充実により神戸港へのイメージ向上を図るとともに、乗船客へ神戸観光の魅力を発信し、クルーズと観光を結び付けることによって神戸経済の活性化に寄与する。

(2) 港湾の価値向上のための連携強化

①ポートセールス関連事業

神戸港の概要や主要な取り組みを紹介する「神戸港オリエンテーション」、「神戸市港湾局事業概要説明会」及び「神戸港案内業務」の開催や、神戸港の優秀な荷役技能の国内外への広報と港湾労働災害の防止に寄与する「神戸港フォークリフト荷役技能向上大会」の実施など、関係諸団体と連携しながらポートセールスに取り組み、神戸港の活性化に寄与する。

②学校連携事業

神戸市内の小中学校を対象とした神戸港見学会「みなとの学習会」の実施期間を通年に拡大し、年間最大120校の参加を目標として、地域学習並びに海洋思想の普及啓発や海事人材の育成に貢献する。また、小・中学校向けの副教材制作において内容制作や資料提供などで貢献する。

4. 地域のハブとしてのDMOの役割強化

会員事業者へのニーズ・課題・ノウハウの共有

神戸の観光実態を主体的に把握するため、各種統計データの定点観測を行い、会員事業者にマーケティング情報を「マンスリーレポート」として毎月提供するとともに、コロナ禍における事業者支援策の概要、感染防止対策の要請内容など、適宜必要な情報をマンスリーレポート臨時号として発信していく。

また、事業者の学びの機会を提供するために、「神戸観光 Link café online」等を実施する。

5. 指定管理施設等の管理・運営

①管理施設における感染防止対策の徹底

神戸国際会議場・展示場や有馬温泉金の湯・銀の湯、萌黄の館や須磨ヨットハーバー等、神戸観光局が管理する施設において、職員のマスク着用・手洗いの実施等を徹底するとともに、感染防止ガイドラインに沿った施設運営を行う。

②神戸国際会議場・神戸国際展示場

コンソーシアム構成団体と連携し、それぞれの強みを活かし、安定した施設の管理・運営を行い、MICEを通じた地域経済の活性化に努める。

また、安全・安心を最優先に快適で効率的な施設の維持管理に努めるとともに、顧客ニーズに合った施設整備やデジタル化を進めることにより、利用者の利便性を高め、施設の魅力向上を図る。

③有馬温泉4施設

有馬の外湯「金の湯」「銀の湯」の2館、地域の情報発信拠点である「有馬の工房」、「太閤の湯殿館」を管理・運営し、有馬地域の活性化に寄与する。

④萌黄の館

北野異人館のひとつである国の指定重要文化財「萌黄の館」を民間所有者から借り受けて一般公開し、北野地域の活性化に寄与する。

⑤港湾関連施設

須磨ヨットハーバー、神戸ポートターミナル・中突堤旅客ターミナル等、港湾関連施設を管理・運営し、ウォーターフロントエリアの活性化に寄与する。